

◆講演『原子力を巡る国際動向(米国の状況を中心に)』

政策研究大学院大学 根井 寿規 氏

【講演概要】

世界的に 2050 年カーボンニュートラルに向けた取り組みの中で、原子力の価値が高まってきた。こうした動きについて、特に法制度整備を含めた体系的な取り組みが進められている米国の例を中心に説明する。



講師紹介

根井 寿規 (ねい ひさのり)

政策研究大学院大学 教授

1981 年東京大学理学部(地質学専攻)卒業後、同年に通商産業省(当時)入省。エネルギー、技術開発政策を中心に担い、1995 年大臣官房総務課長補佐(技術主任)、1997 年 JETRO ヒューストンセンター次長、2001 年通商政策局中東アフリカ室長、2003 年イラク暫定施政当局南部事務所経済部次長、2005 年 原子力安全・保安院原子力発電検査課長、2008 年 東北経済産業局長、2009 年 原子力安全・保安院審議官(総括・核燃料サイクル)、2012 年 JOGMEC 理事(総務担当)を経て、2014 年から現職

◆講演『日本の電力政策の課題と展望

—GX(グリーントランスフォーメーション)を進めるために』

NPO 法人国際環境経済研究所理事、東北大学 特任教授 竹内 純子 氏

【講演概要】

生活・経済を支える「インフラ中のインフラ」である電力。その価格高騰などによって、供給が不安定になれば生活・経済を直撃することになります。わが国は東日本大震災を機に、再生可能エネルギーの急速な普及を進めてきましたが、一方で近年、電力価格の高騰や供給不安が頻発しています。

今後の人口減少やデジタル化、気候変動対策などを踏まえて、電力政策はどうあるべきか。その課題と展望を考えます。



講師紹介

竹内 純子 (たけうち すみこ)

東京大学大学院工学系研究科にて博士(工学)取得。

1994 年慶応義塾大学法学部法律学科卒業、東京電力入社。主に環境部門に従事した後、2012 年より独立。

気候変動に関する国連交渉(COP)にも長く参加し、環境・エネルギー政策の研究・提言に従事。スタートアップと協業し、新たな社会システムとしての「Utility3.0」を実現することを目指し、2018 年 10 月 U3 イノベーションズ合同会社を創業。政策提言とビジネス・投資両面から取り組む。

主な著書に『電力崩壊 戦略なき国家のエネルギー敗戦』、『誤解だらけの電力問題』、『エネルギー産業の 2050 年 Utility3.0 へのゲームチェンジ』(編著)、『エネルギー産業 2030 への戦略 Utility3.0 の実装』(編著)など。